

平成26年12月30日公表

審議会等会議録

会議名	富良野市保健福祉推進市民会議（平成26年度 第5回）
開催日時	平成26年12月3日（水）午後4時30分から午後5時45分
開催場所	総合保健センター 会議室（2階）
出席者等	<委員> 松田委員、井上勉委員、小野寺委員、小玉委員、井上和正委員、高崎委員、石津委員、桐澤委員、川村委員、佐藤委員、久保委員、高井委員、南部委員（計13名） ※欠席委員 羽根田委員、浅田委員 <事務局> 鎌田部長、山黒課長、安西課長、日向主幹、村上係長、高橋西出係長、稲葉係長、南川係長、増田（計10名）
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <一部公開又は非公開の理由>
傍聴の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可
傍聴の人数	0 人
議事録の作成方法	<input type="checkbox"/> 全文筆記 <input type="checkbox"/> 要点筆記 <input checked="" type="checkbox"/> 録音テープ
会議の内容	1. 開会（山黒課長） 2. 部長挨拶（鎌田部長） 3. 委員長挨拶（松田委員長） 4. 議題 （1）第6期富良野市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画素案 （2）パブリックコメントの実施について 5. その他 6. 閉会
会議資料	別紙のとおり
その他特記事項	
問合せ先	保健福祉部福祉支援課 電話番号 0167-39-2255

市のホームページへの掲載（掲載日 12 月 30 日）

1. 開会

2. 部長挨拶

(鎌田部長より挨拶)

3. 委員長挨拶

(松田委員長より挨拶)

4. 議題

(事務局より説明)

質問

生活支援コーディネーターとは、具体的にどのような事に関してのコーディネートをするのか。

回答

現在、富良野市内では高齢者の皆さんに様々なサービスを提供している団体や民間の事業所がある。社会福祉協議会や介護サービス事業所のほか、介護保険外のサービスを行っているコープ札幌の配食サービス、西川食品さんが市から受託している配食サービスなど、様々なサービスが行われている。これまでは、それらのサービスを提供する方々が集まる機会が無かったが、今後は、高齢者の様々なニーズに対応していくために、それらの事業所や団体、地域の町内会、老人クラブなども含めて、どういったサービスの提供が出来るのか、提供主体はどこが適しているのかをを検討していく場として協議体を設置する。協議体の中心には生活支援コーディネーターが配置される。富良野市としては、現在も社会福祉協議会のコミュニティソーシャルワーカーが各地域に根ざした活動をしている。各町内会の高齢者だけでなく、地域の個別支援、生活支援を求める人達の情報把握や、地域の繋がりを基に活動している。そうした活動で培ってきた社会福祉協議会のノウハウを活かした形で高齢者の支援体制を構築していきたいと考えている。今後、社会福祉協議会と検討を進めていきたいと考えている。

意見

いろいろ困ったことの窓口になろうと言うことだが、不安なのは地域包括支援センターと生活支援コーディネーターのどちらに相談していいのかということ。たらい回しにされるのが一番不安に感じる。地域包括支援センターとの連携を基本とし、立ち位置の関係などの問題も出てくると思うが、上手く進めてほしい。行政側の体制や人員の問題もあるが、しっかりとした形を作ってもらいたい。

質問

協議体に関して、サービスを提供する立場の人が多いが、サービスを受ける側の要望はどのように把握するのかが分からない。また、多くの団体などにより構成されるが、個人情報の問題はどのように考えているのか。

回答

個人情報の関係は、現段階では考えていない。今後、担当系の体制も整えていくなかで、具体的な事案について検討していきたい。

質問

ふれあいサロンの関係について、自分の住んでいる町内会にサロン開設の話をしたが、コミュニティーセンターは、三つの町内会が運営しているため、各町内会が揃って話し合う場が年に何回かしかない。共同でサロンを運営する場合、料金の問題や利用の曜日指定などを話し合いたいが、コミセンの運営委員会は年に一回くらいしか開催していない。どのように話し合いをしたら良いのか。新しく開設を進めるような方策を考える必要があるのでは。

意見

コミセンは、いくつかの町内会で運営されていることが多い。西町コミセンは、桂木町と新富町も加わっているが、サロンは西町にある。現在は、コミセン単位というより連合町内会単位でサロンを開設している。連合町内会でいくつもサロンを開設するのではなく、いくつかの町内会が共同でサロンを設置している場所もある。

質問

ふれあいサロンは、連合町内会単位でやっているのだから、自分の住んでいる町内会とは別のサロンに行くことはできるのか。例えば、友人が若葉町にいますので、若葉町のサロンに行きたいなど。

回答

中には、同じ町内会のあの人と会いたくない。町内会を超えて友人同士で集まりたい。などのニーズもある。今後は、連合町内会単位のほかに、開設場所を限定しないサロンの開設を検討していきたい。

質問

軽費老人ホームがサービス付き高齢者向け住宅に訂正されたが、国民年金等の低所得高齢者には、グループホームを受け皿とする事なのか。

回答

当初、軽費老人ホームに参入を希望する事業者があったが、振興局と協議した結果、参入要件に合致しないことになった。計画では、第7期計画期間中の整備予定となっているため、現在のところはサービス付き高齢者向け住宅での整備内容とし、引き続き軽費老人ホームの整備に向けて参入要件を確認しながら検討を続けたい。

質問

道内の他市でボランティアポイント制度を実施していると聞いた。富良野市ではどのように考えているのか。

回答

ボランティアポイント制度は、現在のところ具体的な考えはない。次回の市民会議で、他市の参考事例を照会したい。

5. その他

次回第6回市民会議は2月下旬を予定。